

令和2年国勢調査の実施に向けて

令和元年10月1日

総務省統計局国勢統計課

国勢調査の概要

- **国の最も基本的で重要な統計調査**として、**大正9年（1920年）から5年毎に実施**
令和2年国勢調査 …… **100年の節目を迎える令和最初の国勢調査**
- 調査期日：令和2年10月1日（木）（午前零時現在）
- 調査対象：調査日現在、我が国に常住する全ての人
- 調査項目：世帯員に関する事項：男女の別、出生の年月、就業状態など15項目
世帯に関する事項：世帯の種類、住居の種類、住宅の建て方など4項目

国勢調査の主な役割

- 衆議院小選挙区の改定、地方交付税の交付額の算定など、多くの法令で「法定人口」として利用
- 各府省、都道府県、市町村における少子高齢化関連、防災、地域活性化などの各種施策に必要なとなる基礎的な統計情報を提供
- GDPや人口推計に必要な人口情報を提供するとともに、各種標本調査（労働力調査等）の標本設計や推計に必要な情報を提供
- 民間企業における需要予測、店舗の立地計画などの経営戦略、大学や研究機関による研究等に幅広く活用

1 インターネット回答の積極的推進

前回に続きオンライン調査を全国展開し、インターネット回答を積極的に推進

インターネット回答率
(チャレンジ目標) **50%**

確実な実現を目指す管理目標
(必達目標)を前回調査実績を
超える40%に設定しつつ、より
高い成果を目指して50%のチャ
レンジ目標を設定

2 誰もが答えやすいバリアフリーな調査

インターネット回答の多言語化など、回答チャンネルを多様化し、外国人や障害者、高齢者の方々など全ての方の回答をサポートする多様な支援方策の充実

3 企業や団体の活動・サポートとのコラボレーション

企業・団体の社会貢献活動などとも協働・連携し、外国人・若年層等の回答やインターネット回答の促進、調査員活動のサポートを幅広く展開



いまを知る。

「日本の未来のため、使命感を持って取り組んでいます」「調査を通じてたくさんの人と話せてよかった」そんな調査員の方々の志に支えられてきた国勢調査
令和2年、あなたと、日本にいる全員が希望を掲げる未来へ
その積み重ねが、未来をつくっていく。開始から100年をむかえる令和最初の国勢調査が、はじまります

国勢調査 2020

令和元年

- 10月1日 令和2年国勢調査実施本部（総務省）の発足



地方公共団体において実施本部を順次発足

令和2年

- 7月～8月 国勢調査指導員、国勢調査員の任命
広報大使の任命（広報キックオフ・イベント）
- **10月1日** **令和2年国勢調査の実施（基準日）**